

自分らしく、その人らしく、生き生きと、あなたの“生きる”を支えます

第2アドナイ館だより

それでアブラハムはその所の名をアドナイ・エレと呼んだ。これにより、人々は今日もなお「主の山に備えあり」と言う。(創世記22:14)

グループ

2021年8月15日 第146号

第2アドナイ館だより

発行 社会福祉法人 十字の園

発行責任者 施設長 河出雅代

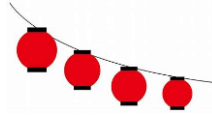
〒433-8105

浜松市北区三方原町3014-1 番地

電話 053-582-8181 (代表)

FAX 053-420-0456

e-メール m-kawade@jyuji.or.jp



夏祭り



- 1日(木)
- 2日(金) 歌の会
- 3日(土)
- 4日(日) 絵画教室
- 5日(月) 管理運営会議
- 6日(火) 運営推進会議
- 7日(水) 移動図書
- 8日(木) 書道教室
- 9日(金) 坂の上医師往診
- 10日(土)
- 11日(日)
- 12日(月)



- 13日(火)
- 14日(水)
- 15日(木) ビューティーヘルパー
チーム会議
- 16日(金) 歌の会
- 17日(土)
- 18日(日) 絵画教室
- 19日(月)
- 20日(火)

- 21日(水) メガネ相談
- 22日(木) 書道教室
- 23日(金) スポーツの日
- 24日(土)
- 25日(日) 懐メロの会
- 26日(月) 防災訓練
- 27日(火)
- 28日(水)
- 29日(木)
- 30日(金) 坂の上医師往診
- 31日(土)



光子姉妹の納骨によせて

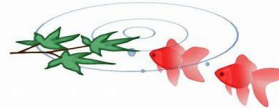
光子姉妹は、初の日本人ディアコニッセ（奉仕女）であり、十字の園の設立に尽力し、開設後は看護師として働き、献身的に支えてこられた方です。長年お年寄りや障がい者への奉仕を続け、第2アドナイ館開設と同時に入居されました。施設を訪れる実習生や新人職員らに当時の思い出をお話してくださいました。

制度も法律もない時代、大変なご苦勞があったことと思いますが「楽しかったということしか残っていない」と笑う光子姉妹でした。

2018年10月13日99歳 第2アドナイ館の自室で神様のもとに召された光子姉妹は、生前の希望通り浜松医大に献体をされました。そして、去る8月1日納骨式が執り行われました。納骨に際し、十字の園が光子姉妹はじめ創立者らの祈りと献身的な奉仕によって支えられて来たことを思い、その精神を後に伝えていかねばと改めて肝に銘じたのです。



在りし日の光子姉妹



7月28日は土用の丑の日。
「やっぱり食べたいよねー」
の声にこたえて、お昼はうな丼を
をご用意しました。皆さん大喜び
でお腹も心も大満足。これで暑
い夏も乗り切れるかな!?



8月の予定

絵画教室	1, 15日	移動図書	18日
お茶会	休止	踊りの会	休止
書道教室	12, 26日	美容室	19日
買い物ツアー	休止	防災訓練	23日
懐メロ	22, 29日	夏祭り	11日
かたりべの会	休止	メガネ相談	18日

ボランティアさんはお断りして職員のみで実施しています
お誕生日おめでとうございます(8月)
相原夏江様(95歳) 安間公巳様(84歳)

第2アドナイ館苦情相談について

苦情受付時間	月～金曜日 8時～18時
苦情相談窓口	相談員 永田 昌代
苦情解決責任者	施設長 河出 雅代
御意見箱設置	各フロア・玄関ロビーに設置 しています
前月のご意見・苦情の件数	
苦情	0件
ご意見	2件(ご要望 3件)